

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



# 緑小だより 7月号

令和5年6月30日（金）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校  
校長 菅野 康一

## 【子ども同士のつながりを生かして】

本校は、今年度の校内研究において、算数科に全校で取り組んでいます。

◇研究テーマ◇

【子ども同士のつながりを生かして】  
～考える 伝え合う 育ちあう～

◆算数科 教科テーマ◆

「学ぶ楽しさや、  
数学のよさを味わいながら学ぶ子」

まず上記テーマに基き、授業者が、「**子どもたちが考えたくなる問いを指して!**」や「**問いから、計算する楽しさを味わう授業**」というコンセプトをたて、授業の中で、「**生活の中でも割り算が使えるんだね**」や「**あまりはわる数よりも大きくならないんだね**」という願う子どもの姿（めあて）を達成するための授業づくりをします。

6月に入ってから私は【算数プロジェクト】（算プロ）と称して、各クラスの算数の授業を参観しています。

先生たちには、『**学校として算数の授業の質をあげていく**』という目的でやっていること、そして『**先生たちだけが頑張るのではなく、子どもたち自身がどれだけ質の高い授業を創ろう**

としているか、参加しようとしているかが大切なのだ!』とクラスで伝えてくださいと話しています。第1回目の授業を参観する日には、朝放送で子どもたちに語り掛けました。教室に行くと、「あ、算プロでしょ?」と言ってくれる子どもたちも多く、嬉しい限りです。45分間の中で見取ることは次の5つです。これをもとに、授業後に先生たちと話をしています。

- ①子どもたち同士を授業者がどうつなげ、どう生かしているか
- ②考える・伝え合う・育ちあう具体的な場面があるか
- ③子どもたちにとって、どんな45分間であったか（適切・集中が続かない・時間が足りない）
- ④45分間の授業で、授業者の願う子どもの姿（めあて）がどれだけ達成されたか
- ⑤子どもたちが、『一人で考えるより、みんなで考えることで、どれだけ“得”をしたかと思えるか』

⑤については、ご家庭でお子さんに、ぜひ聞いてみてください。その答えからお子さんの授業、特に算数に対する意識が見えたり、学校の研究の進捗状況が見えたりすると思います。